

鮫川村のみなさまへ

～ご理解とご協力をお願いします～

環境省

環境省では、鮫川村のご協力を得て、村内の放射性物質に汚染された廃棄物（農林業系副産物、除染による庭木・立木等）を仮設焼却施設にて処理する実証事業を行います。

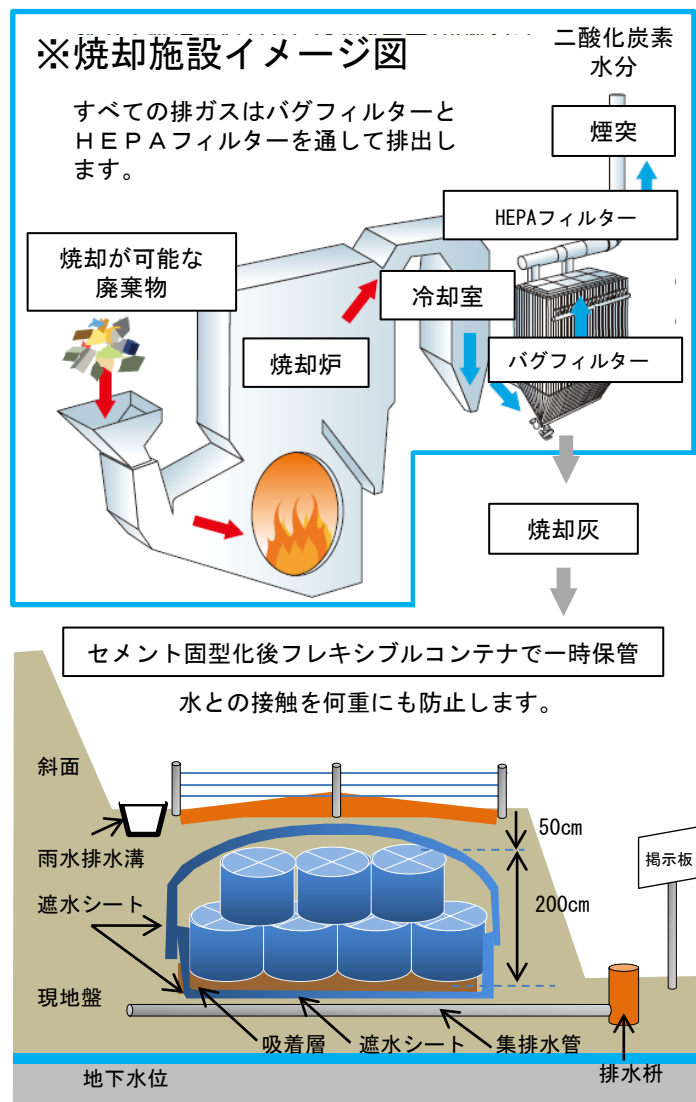
安全を第一に、情報公開を徹底しつつ進めてまいりますので、事業に対する村民のみなさまのご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

現在、鮫川村には、放射性物質に汚染された牧草・稲わら等が各所に保管されており、早急な処理が必要となっています。また、村内の除染を進めるためにも、除染で生じる可燃物の処理が必要です。

この問題を解決するため、村内に仮設焼却施設を設置して処理を行います。実施に当たりましては、安全性の確保とその監視体制を万全にして対応します。また、村民のみなさまにご安心いただけるよう、積極的に情報提供・公開を行います。

焼却処理に関する安全性を確保します

- ①焼却に伴う排ガスは、バグフィルターによって、排ガス中の放射性セシウムをほぼ完全に除去・捕集します。
- ②さらに、HEPAフィルターを設置し、処理後の排ガスを通すことで、排ガス管理に、より万全を期します。
- ③焼却灰は、密閉した建物の中で、自動でセメント固型化を行い、フレキシブルコンテナに梱包し、一時保管を行います。
- ④セメント固型化した焼却灰は、遮水シートで全体を覆い、外部からの水との接触を防止します。また、50cm厚の土で全体を覆い、放射線の影響を防止します。
- ⑤万一の緊急時には、焼却施設は安全かつ速やかに停止します。その際、冷却装置・排風機等の安全確保に必要な機能を最後まで維持します。



各モニタリングによる監視体制を整えて、管理を行います

● 空間線量モニタリング

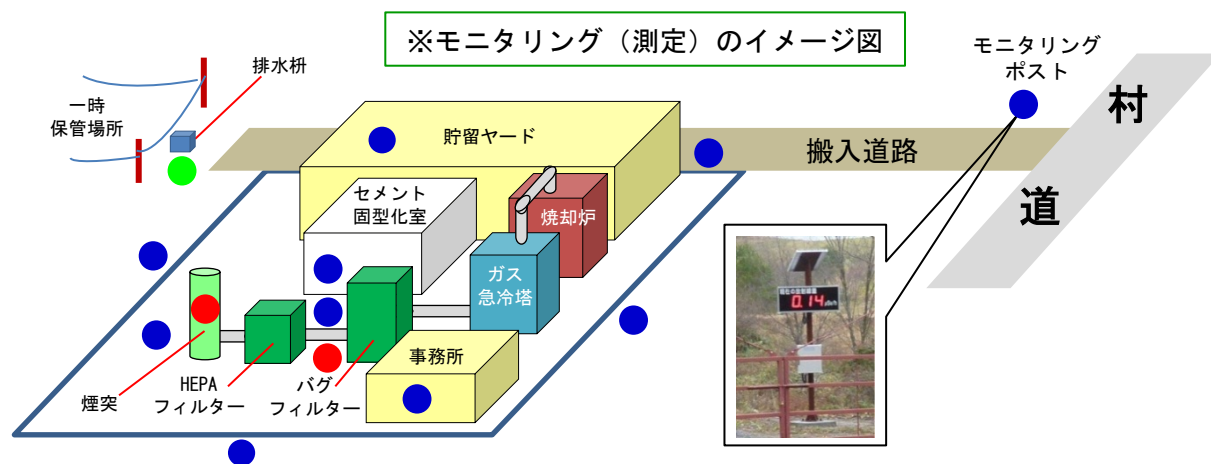
モニタリングポストでは空間線量を常時監視します。実施場所（作業箇所）及び敷地境界の空間線量は作業日毎に測定します。

● 排ガスモニタリング

バグフィルター出口及びHEPAフィルター出口のばいじん濃度を常時監視します。また、定期的に放射性セシウム濃度を測定します。

● 水質モニタリング

施設からの排水はありませんが、セメント固型化した焼却灰の一時保管場所の排水柵において、適正な保管を確認するため、水質（放射性セシウム濃度）を定期的に測定します。



積極的に情報提供・公開を行います

- ◆ 本事業に関する最新情報や各種モニタリングデータは、環境省ホームページで随時公開します。
<http://shiteihaiki.env.go.jp/>
- ◆ 本格運転の開始前に、一般に公開して確認運転を実施します。詳しくは、
http://shiteihaiki.env.go.jp/pdf/shiteihaiki_q5_02_02_03.pdf
- ◆ 確認運転の結果は、鮫川村が住民参加のもと設置する「鮫川村仮設焼却炉監視委員会」に報告します。また、各種モニタリングデータも随時提供します。

※導入する仮設焼却炉については、事前に宮崎県で組立て、動作確認及び排ガス検査を行いました。結果は、動作に問題はなく、排ガス中のダイオキシン類も検出されませんでした。

- ◆ さらに、第三者機関による放射性セシウム濃度等の分析結果は、鮫川村の広報誌・ほっと通信・ホームページでも随時公開します。

実証事業に関するお問い合わせ先（環境省コールセンター）

東京：03-6741-4535 受付時間 9:30~18:15（土日祝日を除く）
福島：024-523-5391 受付時間 8:30~17:15（土日祝日を除く）